

1: 出席者

加藤^a・平林^b・能登・片山・大塚^c・セルゲイ^c・須田^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- COE の研究員を現在の 3 名に加えて一人追加するよう申請した。(加藤)
- 北大に核データの活動に関する H18 年度概算要求を提出した。(加藤)
 - 助手 1 名のポストを申請した。
 - 期間は 5 年間である。
- EXFOR ファイル E029(41 編), E030(25 編), J001(5 編)の最終版を IAEA に送信した。(大塚)
- CINDA ファイル SAP02 (9 編) を NEA に送信した。(大塚)
- ワーキンググループの議事録の報告。内容に関してはレポート (ntx-wg 2?-29) を参照。(能登)

3: 議論

- 1 核分裂あたり放出粒子数を表現する単位について
 - “1/FISSN”か“PARTCL/FISSN”か?
 - 単位と次元の整合性を確認する必要がある。
 - とともにワーキンググループで継続審議とする。
- 新規コードについて
 - 継続審議とする。

4: 次回

2005 年 4 月 11 日 18:30~